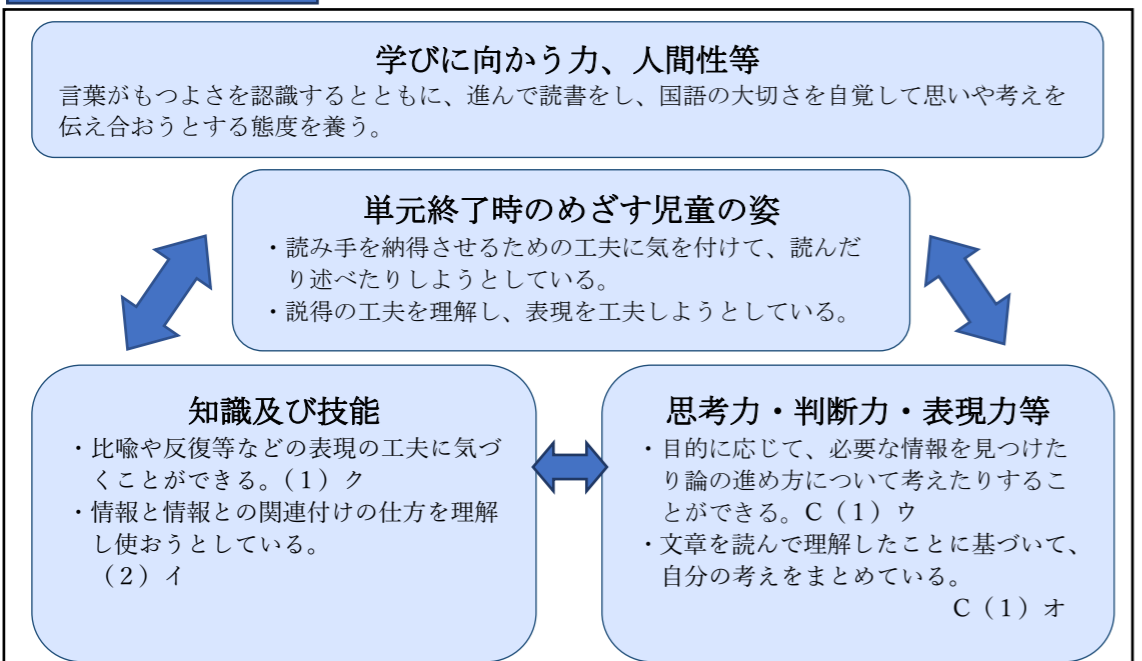


[単元を貫く問い] どのような投稿なら読み手を納得させることができるだろうか。

この単元と関連した領域の付いている力(◆)と内容(・)
 [第1学年及び第2学年]
 ◆文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。
 ・どうやってみをまもるのかな
 ・サツマイモの育て方
 [第3学年及び第4学年]
 ◆目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること。
 ・「ほけんだより」を読み比べよう
 ・広告を読み比べよう
 [第5学年]
 ・新聞記事を読み比べよう

本単元の目標



この単元からつながっている領域の付きたい力(◆)と内容(・)
 [中学校第1学年]
 ◆目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付たりして、内容を解釈すること。
 ◆文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。
 [中学校第2学年]
 ◆目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。
 ◆文章と図表などを結び付、その関係を踏まえて内容を解釈すること。
 ◆観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること。
 [中学校第3学年]
 ◆文章を批判的に読みながら、文章に現れているものの見方や考え方について考えること。
 ◆文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価すること。

他教科等との関連

- ・学級活動

言語活動

自分の考えを、読み手の心を動かすように説得の工夫を使って伝える

<p>【1時間】</p> <p>1. 校長先生からの投稿を読んで、自分の意見を投稿する。 【主①】</p>	<p>【6時間】</p> <p>2. 自分たちの書いた文章が読み手を説得させるものになっているか、教科書の投稿を参考に読み、考える。【知①】【主③】</p> <p>3. 教科書の投稿を比較しながら読み、自分が使いたい工夫を決める。【主③】【思②】</p> <p>4. 5つのテーマの中から投稿したいと思う課題を選択し、自分が使いたい説得力のある工夫について根拠を持って考え、情報収集を行い投稿する。【思③】</p> <p>5. グループで説得の工夫を読み合い、再度投稿する。【知②】【主②】</p> <p>6. 他のグループの説得の工夫をもとに、自分のグループ同士で投稿し合う。本時 【思①】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ①同じグループに投稿 ②別のグループに投稿 ③新聞の投書 </div>	<p>【2時間】</p> <p>7. 自分が選択したゴールに合わせて投稿や投書をする。 【思③】【主①】</p> <p>8. 単元を振り返る。 【主②】</p>
--	--	---

働かせている児童の姿

- ・自分の思いや考えを表す言葉を選んで文章を書こうとしている。
- ・教科書の投稿を比較し、論の進め方の違いを整理し、読み手に与える印象や書き手の意図を関連付けている。
- ・文章を読み比べ、説得の工夫を考えている。
- ・自分が使いたい説得の工夫を探り、情報収集の手段を考えている。
- ・相手や目的を意識して、言葉や表現を工夫している。
- ・自分の思いや考えのもとになっている、工夫や言葉を明らかにしている。
- ・相手や目的を意識して、言葉や表現を工夫している。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。(1)ク ②原因と結果など、情報と情報との関係付けの仕方を理解し使っている。(2)ア	①目的に応じて、必要な情報を見つけたり論の進め方について考えたりしている。C(1)ウ ②文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。C(1)オ ③目的や意図に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。B(1)ウ	①粘り強く論の進め方について考え、分かったことや考えたことを文章にまとめようとしている。 ②今までの学習を生かして、分かったことや考えたことを話し合おうとしている。 ③これまでに学習したことや経験を振り返って、積極的に説得の工夫について考えて、文章を読み比べようとしている。

児童の実態と指導観

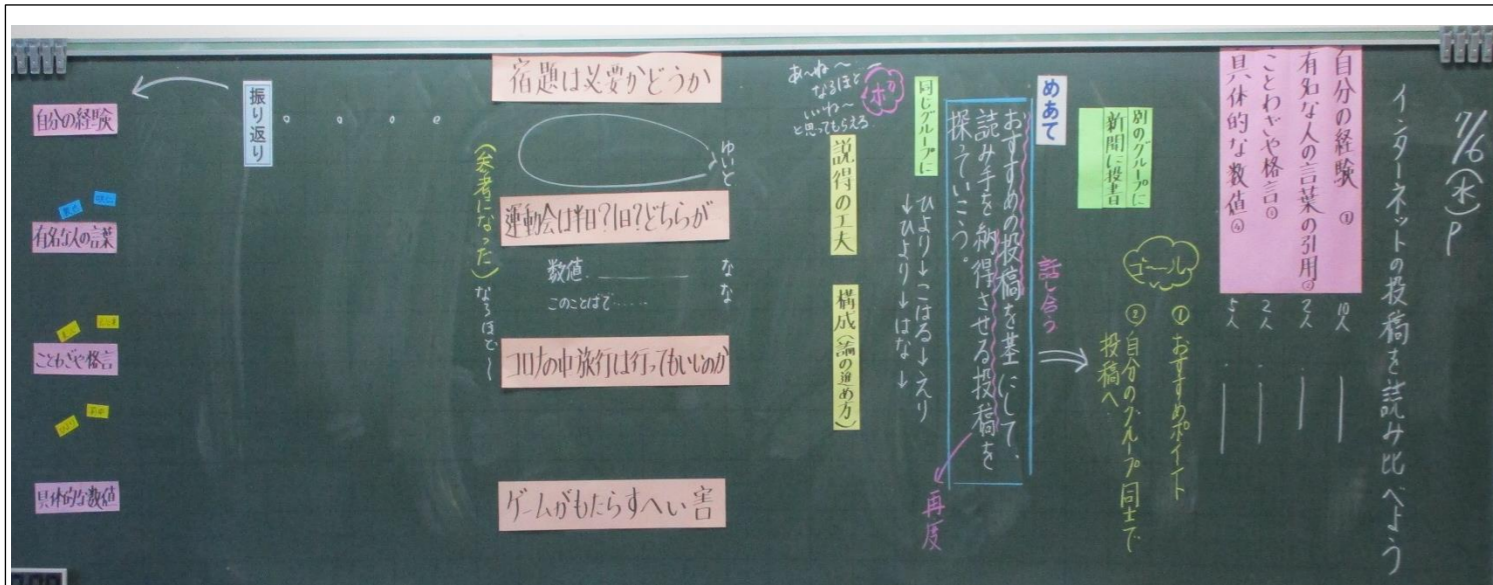
本単元ではインターネット上に投稿されたという想定のある文章を読み比べることで説得の工夫などについて学び、そこで身に付けた力を使って、身近なテーマで自分の意見を投稿するという言語活動を設定している。そのためには児童は一連の投稿を読み比べ、書き手の立場や意見・説得力がある投稿を書くために、自分の立場や意見・主張を決めたいと、理由付けをしたり根拠となる資料を集めたりしなければならない。児童はこれまでに5学年の同系統の単元では、新聞記事を読み比べることで、記事の書き手の意図を読むことを学習している。

本年度4月に行った全国学力・学習状況調査(自校採点)の結果では、「読むこと」の領域において、全国64.1pに対して、本クラスでは59.1p。また、「書くこと」では、全国52.6pに対して、60.5p。記述式では、全国43.6pに対して、47.4pとなっていて、特に、「読む」領域について課題がみられている。また、記述においても与えられた課題に対する条件や具体的に表現することにも弱さを感じられるのが現状である。そこで、本単元では、読んだり、書いたり、比較しながら読むことを繰り返しながら、読み手を納得させる工夫を取り入れていくことで自分の意見を文章にまとめていきたい。

【本時の目標】 自分が納得できた投稿を選択し、読み手を説得させるための工夫を考えることができる。

(6 / 8)

【本時における言葉による見方・考え方】 自分の意見に合う説得の工夫を選択したり、取り入れたりしようとしている。



【課題】 小学生が携帯電話・スマホを持つ必要性と問題点について調べよとめて、是非について、皆さんとしての意見・提言が欲しい。

【A】 私はスマホを持つことに賛成です。スマホを持っていることで自分の役に立ったということが何度もあるから便利だと思っています。実際に、2020年の「小学生のスマホの所持率」を調べてみると、53.1%と、日本の小学生の約半数はスマホを持っているという結果が出ていました。また、私たちのクラスでも、スマホや携帯を使っている人は90%を越えています。何に使っているのか聞いてみたところ、ゲームという答えもありましたが、「親と連絡を取る。」「友達と連絡を取る。」「インターネットで宿題に役に立つ。」という意見が多くあります。生活の中で役立つものなのでスマホを持っているととても便利です。だから必要ではないでしょうか。

【B】 私はAさんの意見に反対です。なぜなら、スマホの関係で、18歳未満の子供が犯罪にあっている数が、平成21年は全国で1600人弱だったのが、平成27年には1745人となっていて、増えているということが分かったからです。このままだとどんどん増えていくということが考えられます。だから、今はまだ小学生にスマホの必要がなくて、高校生くらいになって自分で判断できるようになってから持つ方がいいのではないのでしょうか。私の家では、そんな話をしています。

◎主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習過程の工夫

児童が興味関心を持てると思われる課題を4つ設定し、投稿への意欲を高める。また、読み手を納得させる手立てとして、どんな工夫を使っているのか、なぜその工夫を選択したのか、対話の中で根拠を持って探っていききたい。そして、単元を通してつけた力を基に、最終ゴールを自分で選択させることで、児童の意欲に繋げていきたい。

◎教科の見方・考え方を働かせて課題解決させる手立て

自分の主張に繋がる投稿をするために、説得の工夫を読み取り、読み手を納得させる工夫や構成の仕方に着目させる。「読む」領域であるが、読んだり、書いたりという展開で進めていくことで読み手を納得させる手段を探っていく。

前時の振り返り・本時のめあての共有

1. 前時の想起と本時のゴールを確かめる。
 - T これまで説得の工夫について学習をしましたね。
 - T 説得力のある投稿ができましたか？
 - C できました。
 - C できたけど、説得力があるかどうかはまだ不安。
 - T 説得させるためにどんな工夫ができていますか。
 - C 私は、自分がバレーボールをしているので、自分の経験を入れて書きました。
 - C 私は、ことわざ辞典を使って言葉を選びました。
 - C アンケートを取って数値を載せました。
 - T 今日ではできた投稿を紹介してもらいたいと思っています。

めあて
お薦めの投稿を基にして、読み手を納得させる投稿を探っていこう。

グループ活動・共有

2. グループでお薦めの投稿を話し合い、発表をする。
 - T どんな投稿ならお薦めできると思いますか？
 - C 説得力のある文章。例えば、ことわざや経験などだと思います。
 - T では、納得のポイントを基にしてお薦め投稿を教えてください。
 - C 納得ポイントを確認しながら、交流し合う

(グループで、なぜ納得したのかの根拠を基に話し合う。)

 - T 発表してください。
 - C 私たちのグループは〇〇さんの投稿にしました。
 - 理由は、使っている経験からそんなことがあるんだと納得して、使ってみたいと思ったからです。
 - C 私たちは〇〇さんの投稿にしました。これはインターネットで調べて数値を取っていて、事実なので納得できたからです。
3. なぜお薦めなのかの共有を図る。
 - T 発表を聞いてどんなことが参考になりましたか。
 - C 自分の投稿の構成は、意見ばかりになっているように感じられました。だから、〇〇さんの投稿を参考にしたいです。
 - C 数値を使うと、説得させられることが改めて感じました。

自分が使うならどれを使うか話し合う。

個人活動

4. 再度、説得の工夫を考え、情報を集め、投稿し合う。
 - T 同じグループで投稿者になってみましょう。
 - T 説得の工夫はどうしますか？
 - C 今度はちがう工夫で投稿しなくては
 - C 私は、数値を使って投稿してみます。

(グループ内での投稿を考え、個人思考を行う。)

まとめ・振り返り

5. 学習を振り返る。
 - T 友だちから学んだことはどんなことですか。

<本時で目指す児童の姿>
読み手を説得させるための工夫を理解し、自分の投稿文に生かそうとしている姿。

〔指導上の留意点〕
・本時でどんな学習をしていくのか、めあてをつかみ、見通しを持って授業に臨むよう声をかける。

〔指導上の留意点〕
・お薦めに必要なポイントを示し、お薦めの投稿について、根拠を基に話し合えるよう助言する。

〔指導上の留意点〕
・自分が使ってみよう説得の工夫を選択させ、個人思考をしながら各自に任せて学習していくよう促す。

〔指導上の留意点〕
・次時に他の課題に参加する場合、本時の学習を使いながら個人思考ができるような視点で振り返りをさせる。

【思①】(評価方法) 目的に応じて、必要な情報を見つかったり論の進め方について考えたりしている。